3 (3) ① 多様な生徒の受入環境充実に向けた再編

取組内容	<p>○困難を抱える生徒の背景や事情は様々であり、相談体制の充実や柔軟な学習・教育環境が必要となります。困難を抱える生徒も含め、生徒の多様性に幅広く対応できる学校として、昼夜間定時制高校のチャレンジスクールとは別に、柔軟できめ細かな教育課程や教育相談体制の充実を図った新たなタイプの学校を開校します。新しいタイプの学校においては、多様な生徒間の交流の機会を確保していきます。</p> <p>○困難を抱える生徒の多様なニーズに対応するため、東京都教育委員会はこれまでチャレンジスクールや昼夜間定時制を設置してきました。しかし、チャレンジスクールの応募倍率は1倍を超える状況が続き、依然として入学を希望する全ての生徒を受け入れることができていません。困難を抱える生徒の増大や多様化する生徒のニーズに応じていくため、チャレンジスクール及び昼夜間定時制の規模を拡大し、十分な受入環境を確保します。</p> <p>○ 夜間定時制課程については、入学者選抜の応募倍率が著しく低い状況が続いています。学校・学級規模の極端な小規模化は、ホームルーム活動や学校行事などの特別活動が低調になり、集団活動を通じた教育効果が十分に得られないことが懸念されます。また、多様な生徒同士の交流の機会を得ることも困難な状況となります。このため、過去5年間の平均入学手続人員が概ね10名以下の学校が多数生じている状況を踏まえ、一部の夜間定時制課程について、学科ごとに地域バランス等を考慮した上で募集停止を実施し、生徒を適切な環境の学校で受け入れていきます。</p>
所管部署	教育庁都立学校教育部高等学校教育課